

日時：6 月 24 日（火）16：00～18：00
場所：山梨総合研究所 6F 会議室

テーマ：耕作放棄地の実態と新担い手による活性化 — 家族楽園を目指すところ —

講師：山田 守郎氏
(株)ヴィンテージファーム 代表取締役社長

1. はじめに

日本の農業の衰退は目を覆いたくなるばかりである。それと一緒に食に関する不安も増してきている。食に対する関心が薄いことも大きな問題である。

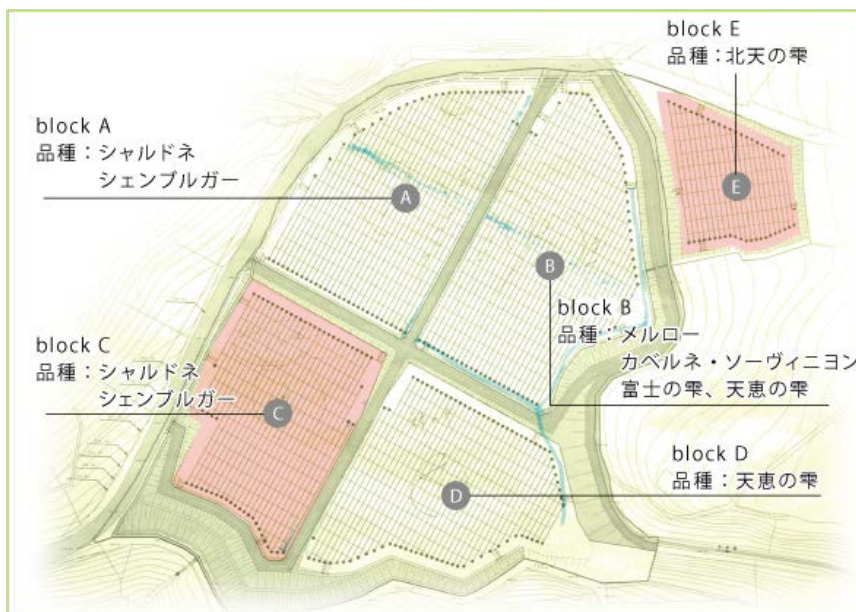
毎日の食事は身体・精神に影響していく。その事実を真摯に受け止め、毎日の食事に関心を持った方がいい。現在交流のある食育専門の先生によれば、うつ病が食事によって改善されたり、長野県のある高校で食事を変えたところ不良学生の割合が減った事例がある。

毎日の食事、地産地消、コンビニの食事のことも含め、食育ということに関心を持つべきである。

我々が企業として農業に取り組み始めた根本はそうしたことにある。また、我々の事業はゴルフ事業が男性を対象とするため、お客様のご家族が楽しく過ごせる場を提供したいとの思いもあった。

2. 農業・ワイナリー事業

ヴィンテージリゾートの子会社あるヴィンテージファームは、農業やワイン醸造を行う会社として 2009 年に設立した。経営面積は約 2.5ha で、主に醸造用のブドウを生産している。



2013年には、ゴルフ場のガレージを改修し、ワイン醸造用の設備を入れてワイン醸造を行うこととなった。今年以降生産量を増やしていく予定である。



後ほど、テイスティングするワインは、残念ながら他の県内ワイナリーで醸造したものであるが、今後は自社生産のワインを提供することができる。

3. 家族楽園構想

先ほど、ゴルフのお客様の家族も楽しめると言ったが、家族楽園は農業やアウトドア体験を通じて、一家のひと時を過ごして頂き、生きる力を身につけてもらおうという取り組みで、弊社の施設ばかりでなく、増富温泉などの周辺行楽地と協力して進めている。この家族楽園では、地域の農業やアウトドアの名人にいわば「教授」として協力頂いている。今まで培ってきた知識・経験に基づき地域内外の参加者に実地指導することで、参加者は経験価値の豊かさに気づき、お年寄りの名人は共感を得ることで元気になる。



4. ヴィンテージの目指すもの

今、日本は高齢化の真只中にあり、このままでは年金はもとより医療の崩壊が危惧されている。医療・年金は世代間の支えあう仕組みであるが、持続不可能であることは明らかである。また、家や食事は金で買えるといった危ういライフスタイルであるが、健康や元気は金では買えない。

北杜市の豊かな資源を活かし、統合的な医療が実践できる里を構築することは、日本が健康先進国として世界の最前線に立つチャンスでもあり、地方再生のモデルともなりえる。こうした観点から、「食」「学（び）」「動（運動）」「医（診断）」が実践できる里づくりを手がけている。来年には80人収容のホテルの整備を予定している。